

平成20年第1回周南市議会定例会一般質問通告一覧表
(平成20年3月6日～11日)

1 坂本心次（顕政会）

1 ぬくもりのある地域の食の安心安全について

(1) さらなる地産地消を進めていくための方策は。

2 ぬくもりのある地域の港湾計画について

(1) 港湾計画の変更を予定されているが、スーパーバルクターミナル、ポートルネッサンス21、徳山駅周辺整備事業の関係は、市としてどのようなビジョンを持っているのか。

(2) 交通アクセスをどのように考えているのか。

3 ぬくもりのある地域の合併後5年間を振り返って

(1) 食農総合ビジョンの経過は。

(2) 景観計画の策定状況は。

(3) 公立幼稚園と私立幼稚園の協議会設置の状況は。

4 ぬくもりのある地域のスポーツ振興

(1) 国体に向けてのハード面、ソフト面の整備状況は。

2 米沢痴達（顕政会）

1 民生児童委員活動について

(1) なり手不足解消についての取り組みを問う。

(2) 活動に必要な情報は提供されているのか、本市の現状と取り組みを問う。

2 家庭教育について

(1) 家庭の教育力充実についての支援、施策を問う。

(2) 男女共同参画教育の推進を図り、父親の教育への参加を促すための取り組みを問う。

(3) 理不尽な要求を学校に突きつけるモンスターペアレントの本市における実情と対応について問う。

3 ツル保護対策について

(1) 1回目のツル移送事業で見えてきたものは何か。

(2) 7羽の案内ツルがいる間の取り組みが急がれる中、来年冬には20羽の元気ツルの移送を要請することだが、課題は何か。

(3) ねぐらやえさ場の環境整備の取り組みを問う。

3 岸村敬士（新政会）

1 角形A4封筒の再利用について

(1) A4判用紙が入る封筒の再利用として、封筒の下部に特別に封筒として利用できるようにしたらどうか。

2 ごみの有料化と恋路クリーンセンター維持管理費について

(1) ごみ有料化を目指しているが、決定すれば、周南市民の負担はふえる反面、回収量が大幅に減量となる。可燃ごみのうち、周南地区衛生施設組合の恋路クリーンセンター維持管理費について、現在は人口割で負担しているが、市として、持ち込みの量で負担割合を決めるべきと主張すべきでは。

3 リサイクルプラザの建設について

- (1) 当初センターの建設は、地元の建設業者を加えたJVで行う予定だったが、不調に終わった。その後、プラントメーカーによるプロポーザル方式に切りかえた。
 - ア その過程を問う。
 - イ 地元の建設業関連業者は大変厳しい経営環境にある。地元業者が下請あるいは孫請等に入れない可能性があり大変危惧する。
 - ウ 選定されたメーカーに地元企業が下請あるいは孫請等に入れるよう確約させるべきだ。

4 長嶺敏昭（三輝会）

1 周南市の駅周辺の都市機能を回復する力がアートにはある

- (1) 再生戦略会議の議論はできる限り尊重するが、コンサルとゼネコンでのまちづくりは、形はできても地方都市は再生しないのではないかと。手法が古い体質だと思うがどうか。
- (2) この町の再生にはコーディネーターではなく任せられるプロデューサーが必要だと思うがどうか。
- (3) 文化の世界的発信で想像以上に人が集まる時代だ。これまでとは異質の観点、手法で中心市街地の再生、開発を考えよう。
- (4) プロデューサーに世界的アーティストを起用し、その世界に広がるネットワークで周南再生は可能だ。
 - ア 駅ビルなどの施設建設は芸術的建築家をディレクターに新進建築家集団の設計コンペを実施するべきだ。その後、地元建設業者による施工が望ましい（外部から専門家を非常勤臨時職員または参与として雇用する方法もある）。
 - イ プロデューサーのアーティストによるその後何年にも渡るアートプログラムの展開による文化の発信に期待ができる。
 - ウ 大学などと連携し、徳山の町の徹底的なリサーチから始めるべきだ。
 - エ 市長のトップダウンと市民からのボトムアップでアートにあふれる世界宣言都市周南市が具現化する。そのための仕掛けを行政がやらなければならない。

2 水素社会の到来

- (1) 海軍燃料廠、石油化学コンビナートで発展の礎となった周南市は石油ピークを迎える時代に次世代クリーンエネルギーの水素に着目しなければならない。百年の基軸を考えるなら水素社会を見通していくべきだが、地方都市の政策として他市に先駆けてできることはないか。
- (2) 環境立市の手始めに公用車に水素自動車の導入はどうか。
- (3) 水素エネルギーに関して水素が豊富なコンビナート企業との連携は今後どうなるか。

5 西林幸博（刷新クラブ）

1 スーパーバルクターミナル事業について

- (1) 新年度を迎える時期でありポータルネットワーク21事業との連携は。
- (2) 高規格道路との連携は。
- (3) 産業道路整備との連携は。
- (4) 駅周辺整備事業との連携は。

2 観光について

- (1) 観光行政の取り組みはどのように評価しているか。

- (2) 今後の取り組みは。
- (3) 観光ボランティア育成状況は。
- (4) 児童から観光教育に取り組まれないか。小学校の授業に取り入れるなど。

6 炭村信義（民主一意会）

1 鹿野小学校屋内運動場の雨水の浸透等について

- (1) 建築後1年を経過していない鹿野小学校屋内運動場（小中学校兼用）の壁面透水等の原因と責任を問う。
 - ア 設計図に忠実にでき上がった建築物か。
 - イ 引き取り検査の評価点は。
 - ウ 引き取りのとき、問題なしと判断した理由。
 - エ 今後の対策は。
 - オ 責任はどこにあると判断しているか。

7 田中和末（刷新クラブ）

1 合併特例債について

- (1) 合併特例債のこれまでの活用状況は。
- (2) 来年度以降の基本的な考え方と充当予定事業は。
- (3) (1)、(2)について市民への周知は。

2 特別支援教育について

- (1) 保護者や子供一人一人のニーズに応じた教育になっているか。
- (2) 特別支援学級に通学する児童の放課後保育について、4年生以上でも利用できるような特例措置を。

3 安全対策について

- (1) 浦石鬼頭線の道路整備と東山代々木線・浦石鬼頭線の交差点の渋滞緩和と安全対策について
- (2) 新南陽球場のスコアボードについて、老朽化し、現在使用禁止になっている。非常に危険であり、早急な修理を。
- (3) 市役所西側のブロック塀について、いつ倒壊してもおかしくない状態のまま放置されている。至急対処すべきではないか。

8 小林雄二（刷新クラブ）

1 下水道整備について

- (1) 市街化区域の下水道進捗状況と今後のメンテナンス上の課題は。
- (2) 調整区域における下水道計画の方向性については。
- (3) 毎年度当初には方向性を説明するなど、計画が地域に十分説明されているか。

2 透水性舗装について

- (1) 快適都市環境づくりの一環でよいと思うが、一部において舗装砂利の剥離が見られる。今後の補修計画及び方向性についてはどうか。

3 一人暮らし高齢者の見守りなど小地域福祉活動について

- (1) 地域のつながりが希薄化している今日、見守りや生活支援をボランティアに頼るには荷が大き過ぎる気がする。学校区単位程度での行政による推進ネットワークづくりが必要ではないか。

4 施政方針について

- (1) 施政方針に周南再生戦略会議の役割が重要と感じられるが、今後、諮問していくに当たっての基本的な考え方はどうか。
 - ア 戦略会議より答申を受けて、執行側としての検討はどういった組織（場）で行われるのか。
 - イ 戦略会議の構成についての今後の方針は。
- (2) 徳山駅周辺整備事業の計画の全体像及び平成21年度都市計画決定に向けての動き、進捗は。

9 反田和夫（公明党）

1 動物行政について

- (1) 動物愛護法改正に伴い、本市の対応はどのようになされているのか。
- (2) 市の遊休地を利用してドッグランができないか。

2 義務教育におけるクラブ活動のあり方について

- (1) 協調性と友情を深め、楽しく安全な学校生活を豊かにする対応を。
- (2) 外部コーチの位置づけと役割について

3 自治会活動の行政支援について

- (1) 行政と自治会の相互協力について
 - ア 自治会未加入世帯の解消と今後の対応への協力について
 - イ 自治会未加入世帯のごみステーションの設置について
 - ウ 自治会活動を中心にコミュニティ活動を促進しやすい環境の整備を。
 - エ 自治会の管理するごみステーションへの不法投棄の対応処置について

4 市民（高齢者）の健康づくりについて

- (1) 介護予防の普及、啓発運動はどのようになされているのか。
- (2) 地区の既存公園に介護予防に役立つ施設の設置はできないか。

10 吉平龍司（公明党）

1 市長の市政運営と諸課題の取り組みについて

- (1) 行政改革と財政運営について
- (2) 少子・高齢社会への対応
 - ア チャイルドファーストのまちづくり
- (3) 地球温暖化対策とまちづくり
 - ア エコポイント制度とE S C O事業導入拡大の取り組みは。
- (4) 医療体制について
 - ア 本市における救急医療網の現状は。
 - イ ドクターヘリ導入とヘリポート開設の御見解は。
 - ウ 地域における緩和ケアの推進について
- (5) 地域の観光振興策について
 - ア 市の観光戦略の現状と将来展望
 - イ 地元産品や市域全般の観光資源の再発掘

11 伴 凱友（民主一国会）

1 正規・嘱託・臨時職員の給与について

- (1) 正規職員と嘱託・臨時職員の給与格差について、今後どのように対応するのか。
- (2) 12月議会で市長の明言された業績評価の内容を問う。

2 鹿野小中学校の体育館工事について

- (1) 建築後1年近くが経過しているのに、満足に使用できない状況である。工事ふぐあいの対策について、一貫した市の方針を立てるべきではないか。
- (2) 市の建築課が、教育委員会の職員に業務を指令していることは教育行政への介入、直ちに改めるべきではないか。

3 市民防災について

- (1) 災害時に使用できる市民の所有する防災グッズ(自家発電装置や個人の井戸など)の調査をし、マップの準備をしてはどうか。

12 金井光男(公明党)

1 防災・減災対策

- (1) 耐震診断・耐震改修に対する補助制度
 - ア 創設されている耐震補助制度の活用・周知の進捗状況
 - イ 民間建築物に対する耐震診断の補助制度の創設
- (2) 小中学校の耐震について
 - ア 診断・改修・補強の進捗
 - イ 耐震化推進計画の進捗
- (3) 避難所指定校の防災機能の整備について
- (4) 災害時要援護者支援対策
 - ア 要援護者情報(要援護者リスト等)の整備状況
 - イ 要援護者支援プランを策定
 - ウ 横断的なプロジェクトとして「要援護者支援チーム」の設置

2 子育て支援対策

- (1) 地域再生交付金等の活用による妊婦無料健診の拡充
- (2) 里帰り出産を希望される方のための「里帰り健診」への対応
- (3) 5歳児健診の導入

3 市民サービス拡充対策

- (1) 休日の市民課窓口担当業務の開庁

13 久保忠雄(周南会)

1 福祉バスに関して

- (1) 熊毛地区の福祉バス、乗り合いタクシーの運行はどうなっているのか。

2 上水の問題

- (1) 熊毛地区の上水問題はどうか。

3 下水の問題

- (1) 本線から離れた民家の下水対策

4 施設管理について

- (1) 熊毛公民館の保守の問題はどうか。
- (2) 熊毛農村婦人の家は地震災害のため使用不能である。この建物をどうするのか。

- (3) J A周南三丘支所の建物と跡地を市として利用できないか。
- (4) 熊毛北高の教員住宅を市営住宅として利用してはどうか。

5 通学路について

- (1) 三丘小学校前の県道の通学路対策は。

6 住居表示について

- (1) 熊毛地区の住居表示をわかりやすい表示に変更できないか。

7 熊毛地区の市外局番について

- (1) 熊毛地区だけ市外局番が異なるが、統一するよう働きかけることができないか。

8 高水駅のトイレについて

- (1) 女性の利用者が困っていると思うので、早急につくれないか。

1 4 高松勇雄（民主一国会）

1 循環型社会形成について

- (1) バイオディーゼル燃料生成装置の設置はできないか。
- (2) 料飲関係や一般家庭からの廃油回収はできないか。
- (3) 休耕田や転作田畑で菜の花プロジェクトの取り組みはできないか。
- (4) バイオディーゼル燃料でゴミ収集車やバス等公用車の運用はできないか。

2 桜南団地急傾斜地崩壊防止工事について

- (1) 県・市・住民との工事に関する情報共有ができない、また、小出しにするのはなぜか。
- (2) 工事の嘆願書提出の前に急傾斜地崩壊危険区域に指定するのが先でないのはなぜか。

3 学校施設等の利用料について

- (1) 所得のない青少年の施設使用料・利用料・照明料がなぜ免除にできないのか。

1 5 長谷川和美（至誠会）

1 市民の食の安心安全をどう守るか

- (1) 学校給食についての方向性
 - ア 小規模分散化は。
 - イ 検収体制は。
 - ウ 民間委託は。
- (2) 毎日型配食サービスについて
 - ア 現状と方向性は。
 - イ チェック体制は。
- (3) 市民の食の安心安全を守るための体制づくりにどう取り組むか。

2 施政方針の安心安全の確保について

- (1) 消防・救急体制の整備は。
- (2) 市民の暮らしの安心安全確保のための行政組織の整備は。

1 6 形岡 瑛（日本共産党）

1 ごみ処理有料化について

- (1) 有料化でゴミが減るとい根拠はあるのか。
 - ア 家庭からの排出抑制で減らせるものは何か。

(ア) 生ごみの堆肥化は。

(イ) リサイクルでは。

エ 堆肥化は別としてリサイクルはごみの処理方法を変えるが、総量は減らない。

ウ ペットボトルやレジ袋のリサイクルでは資源の節約にもならない。

(2) 有料化を実施したところでのリバウンドは確認されているのではないかと。

ア 袋の値段をある程度高くしないとリバウンドが起きるといふ考えがそれを認めている。

(3) 「消費者がごみのたくさん出る商品を買わないようにすれば、生産者や販売者がごみの少ない商品を生産するようになる」といふ説明をしているが、本気でこんなことを考えているのか。

(4) 有料化でごみが減るといふことがはっきりしない。有料化は保留すべきである。

2 農政について

(1) 市による独自の「担い手」を認定する制度が導入されると聞くと、どのようなものか。

(2) 周南市で「担い手」はどの程度拡大されるか。

(3) これで周南市の農業は発展できるか。

3 スーパーバルクターミナル構想について

(1) この構想はどこまで現実的なものか。

(2) 発電のための石炭需要が半世紀先まで続き増大するといふ前提は正しいのか。

(3) 石炭による発電は抑制し、森林資源を活用するバイオマス燃料に切りかえるべきではないか。

(4) 来年度から法改正などによって着手される（スーパーではない）バルクターミナルとの関係はどうなるのか。

(5) （スーパーではない）バルクターミナルでは、どの範囲にフィーダー輸送をする計画なのか。

4 施政方針について

(1) 「実効性ある人事評価制度を導入する」といふが、どういふ制度を考えているのか。

ア 成果主義を導入するのか。

イ 民間企業では、成果主義の弊害が出て見直しの流れが強まっているが、このことをどう考えているのか。

17 藤井直子（日本共産党）

1 国民健康保険について

(1) 資格証明書発行枚数の推移は。

(2) 堺市、野洲市では、保険料を滞納して窓口に行きづらい市民に、行政の方から手を差し伸べている。その取り組みをどう思うか。

2 ごみ減量化について

(1) 「排出するごみの量に応じた費用を負担することで、費用負担の公平性を図る」とことについて
ア 市民は、食材と一緒にごみとなるトレーや包装材を買わされている。家庭に押し寄せるごみを減らす責任は、すべて市民にあるのか。

イ 家族の多い世帯は、単身世帯よりごみの量が多い。減量化の努力は、ごみの量ではかれるのか。

ウ ごみの分別には、空間と時間がかかる。住居が狭いとか、共働きで子供が小さいなど、生活条件の悪い世帯ほど負担が大きいことは公平か。

(2) 今まで行ってきた有料化説明会で、減量化の工夫が質問されたか。

はあるのか。

3 鹿野小学校体育館について問う

- (1) 建設されて1年も経過していないのに、雨漏り等余りにもひどい状態だが、工事方法、引き渡し時の検査等、経過と対応、さらに今後の取り組み方、そして責任について。

4 施政方針について問う

- (1) アンシャンレジーム（旧体制）を打破しとあるが、具体的にどういうことなのか。
- (2) 徳山駅周辺整備事業、コアプラザ熊毛、コアプラザ鹿野とあるが、新南陽に関するものがないように思うが、新南陽地区に対する計画はないのか。
- (3) 市民との直接対話は続けて行うのか。

2 0 中村富美子（日本共産党）

1 ごみ問題について

- (1) ごみ処理有料化の住民説明会でクリーンリーダーの推薦を自治会にお願いしている。その内容は、ごみの減量化、資源化活動のリーダー的な役割を担うものとしているが、
ア ごみの出し方のチェックとあるが、具体的にどういうことをするのか。
イ ごみステーションの清掃の呼びかけとあるが、具体的にどういうことをするのか。
ウ 不法投棄ごみの通報とあるが、具体的にどういうことをするのか。
エ 各種制度の周知をするとあるが、これは市の仕事ではないのか。
オ 有料化によって、違法なごみ捨てやごみの出し方などについて監視と取り締まりを市民に負わせるのは問題ではないか。
カ クリーンリーダーの選任は、有料化とあわせて要請するのではなく、市民と行政が一体となった取り組みの中で、自発的に行われるようにすべきではないか。

2 ロックタウン周南の出店について

- (1) 12月議会で、ロックタウン周南の出店に伴い、産業道路の交通渋滞が考えられるので、東ソーとその関連企業の従業員の迂回路として、周南大橋の利用をさせるべきではないかと質問した。市は、管理上の問題と思うので、東ソーと話をしてみたいとのことであったが、その後の対応は。

3 和田小・中学校の問題について

- (1) 和田中学校の技術室は、校舎とは別棟にあるが、現状をどう考えているのか。
- (2) 和田小・中学校の体育館建設計画があるが、この中に技術室を整備することはできないか。
- (3) 和田小学校から、安全上の問題から川沿いにフェンスを張ってほしい要望がある。整備を。

4 学校図書館について

- (1) 先進地の岡山市学校図書館の勉強をしてきた。専任の司書を配置することを真剣に検討する時期と思うが、いかがか。

2 1 福田文治（三輝会）

1 放課後子どもプランについて

- (1) 教育委員会が主導して取り組むとしているが、周南市はどのように取り組むのか。
- (2) 児童クラブの現状は、すし詰めだが、教室開放による保育スペースの確保はできるのか。
- (3) 学年引き上げは先送りとなったが、今後の見通しは。

2 施政方針について

- (1) 市民との対話「現場主義」について

(2) 生業の力

ア 中心市街地整備室の昇格とあるが、どのように変わっていくのか。

(3) 食の力

ア 道の駅整備は食の力となっているが、地域の多機能を有するセンター施設と思うが、いかがか。

イ 実証実験を行い、生産・供給体制構築の可能性の調査とあるが、期待どおりの結果が出なければ、道の駅の実現はないのか。

(4) まちづくりにおいて「ベクトルを1つに」する勇気、市長の責務とあるが、その方法、手法はあるのか。

2 2 青木義雄（三輝会）

1 行政組織機構

(1) 組織機構改編はどのような経過で決定に至るのか。

(2) 国・県が大きく関与する事業は、全市的全庁的に取り組む必要性から国体準備室、ツル事業は市長部局で。

(3) 広範な人権施策は、将来的には一体的に取り組むことを検討されてはどうか。

(4) スピーディーに対応できるスタッフ制の研究、検討を。

2 原油価格高騰

(1) 原油価格高騰を受けての現状や対応を問う。

ア 市民生活の影響をどのように認識しているか。

イ 行政内部で受ける影響は。

ウ 緊急対策はあるのか。

3 地域づくり

(1) 徳山東学校給食センターの移設とそれに伴う跡地利用は、地域の安心安全や活性化など含めての地域住民協働による一体的・長期的な地域づくりの視点が不可欠と思うが、いかがか。

2 3 橋本誠士（周南会）

1 中心市街地について

(1) 徳山駅周辺整備事業の実現に向けて

2 4 田村勇一（新政会）

1 分権下の地方自治、新たな自治体経営の方向について

(1) コミュニティのあり方

(2) 行政広報の推進

2 こどもを育む体制の充実

(1) 少子化対策について具体的な方策を問う。

2 5 兼重 元（至誠会）

1 5年が経過する合併のこれまでとこれから

(1) 新年度から本格的な島津市政が動き出すが、何よりも大事なことは「市民にとって周南合併とは何か」これまでをしっかりと検証しつつ、これから目指すべき「強い周南の創造」へ向けたかじ

取りを期待したい。以下の内容で見解を問う。

ア 周南合併は中核都市づくりを目指して実現した。当時策定した「新市建設計画」はまちづくりの方向性、行財政運営の基本等を定めたものである。

(ア) 基本方針で示す「県政発展をリードする元気発信都市の創造」は新市としてこの時点でどう評価しているか。

(イ) 「拠点性・豊かさ・一体性の視点」から21のリーディングプロジェクトは合併によるまちづくりを進めるメイン事業として挙げたが、その実現性の認識はどうか。

イ 合併によって「簡素で効率的な行政体制の確立」が求められていたが、行政サービスの統一、機構の変更、職員数と資質向上、財政運営の実態について

(ア) 事業の裏づけとして新市財政計画を策定したが、現実との差異について、その内容とその理由をどう認識しているか。

(イ) 地域審議会のこれまでをどう評価しているか。

(ウ) 総合支所の機能・権限は住民にとって存在意義とその権限、機能はどうか。

(エ) 財政難に対処する手段としての市民の応益負担(使用料・手数料ほか)とその合意形成は。

2 徳山駅周辺整備構想から

(1) 再生戦略会議が答申した徳山駅周辺ランドデザインから市長の見解を求める。コンセプトは「100年先を見据えたまちづくり」とすることに異存はないが、これからの時代の推移をどうとらえているのか。また計画実現の可能性について

ア 行政のスタンスはどうか。また市民へどのようなメッセージを送るのか。

イ 70万商圈構想の中心地として、3万平方メートルを超える商業フロアの確保は理にかなっているのだろうか、集客へのマグネットは何か。だれが資本を出し、だれが経営するのか。

ウ 港に続く公園構想も地権者の協力は得られるのか。

(2) 困難を克服することにまちづくりの意義があるとは理解するものの、どうも計画倒れを承知で市民に問いかけているのではないかと思えるが、いかがか。

3 学童保育の公平性を問う

(1) 市内の学童保育施設の格差が大きい、どう考えているのか。

(2) 運営上の問題点はどうか。

4 ごみ行政の本質

(1) ごみ問題は地球規模、世界規模で今日問いかけられている。一地方都市で解決するような問題ではないと思うが、「隗より始めよ」とある。ごみ処理の有料化について否定するものではないが、以下に問う。

ア 初めに有料化ありきで市民理解と協力は得られるのか。

イ ごみの有料化という手法が差別化を喚起し、資源化につながり減量化を生み出すという考え方であろうと思うが、果たしてねらいどおりになるのか。

ウ 具体的に市民として取り組むこととは何か。これまでのクリーンリーダー方式はどうなっているのか。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第5条の8には廃棄物減量等推進員とあるが、適切に運用すべきと思うがどうか。

(2) 周南市一般廃棄物処理基本計画(平成17年3月策定)の具体的な取り組みはどうなっているのか。この基本計画は「世界に誇れるリサイクル都市・周南に向けて」合併後の10年間のマスタープランであるが、この計画をもとに周南市はこれからごみとどう戦っていくのか、見解を求

める。

2 6 尾崎隆則（顕政会）

1 施政方針について

- (1) 周南再生戦略会議は、市長の任期中続けられるのか。
- (2) 周南再生まちづくり懇談会での市民の声をどのように市政に反映させるのか。
- (3) 道の駅は東西2カ所つくると言われ、東は熊毛のインター付近、西は戸田駅付近との話が出ているが、場所は決定しているのか。
- (4) 駅周辺整備事業について
ア 学校給食センター建設計画は答申どおりに進められようとしているが、駅周辺整備についても同様な考えか。

2 7 西田宏三（周南会）

1 生業の力の実現

- (1) 駅ビルがその機能を果たさなくなると10数年を経過、その間さまざまな形で駅ビルまた駅周辺のデザインを考え、実行に移す前にことごとくついでている。21年度に向けての都市計画決定を、そして各施設の基本計画を策定とあるが、各施設とは一体何を指すのか。

2 計らう力の実現

- (1) これは港湾基盤整備としてのスーパーバルクターミナル構想であるが、自然を取り巻く環境の厳しさが増してきている今世紀にあって兼ね合いはどうすべきか。また、この構想に出資をとのことだが、核となった形で経営に乗り出すことになるのか。

3 食の力の実現

- (1) 道の駅の整備をとのことだが、現在、県内外にあってこの道の駅は、ほとんどが国交省の補助ででき上がっており、この点はどのように感じているのか。また、農産物直売所運営の実証実験とは。

4 観せる力の実現

- (1) 観光立市への取り組みであるが、県内外からの誘客、そのため花火大会等さまざまなイベントを仕掛ける。今周南市は冷え切っており、工業の町から商業の町への大きなかじ取りが必要となってきた。この周南市を「x大会誘致宣言都市」として打ち出し、官民一体となった各種大会をこの周南市へお招きすることを目指してはどうか。